



三重小だより

長崎市立三重小学校
令和5年6月26日 第4号
文責 校長 飯島 由紀

学校教育目標 ～ 自ら学び 考え 行動する ～

6月19日～25日「長崎っ子の心を見つめる教育週間」

□19日(月) いのちの講話

教育週間初日は、校長講話として「命の時間」について話をしました。11歳で病気で亡くなった女の子の「命」という詩を紹介し、自分の「命の時間」を大切に使うこと、そして、自分の「命の時間」と同じように、友達の「命の時間」も大切にすることを伝えました。

□20日(火) 被爆体験講話

6歳のとき、爆心地から3.3kmの鳴滝町で被爆された八木道子（やぎみちこ）さんを講師にお招きし、「被爆体験講話」を行いました。一瞬にして聞こえなくなったセミの声、異様な空の色は、今でもはっきり記憶にあるとおっしゃっていました。暑さ対策のため、平和学習を行っている5年生のみ理科室で直接お話を聞き、その他の学年はオンラインでの視聴となりましたが、子供たちは最後まで八木さんのお話を一生懸命聞き、平和について真剣に考えていました。

□22日(木) 集団下校訓練・23日(金) 1年生交通安全教室

22日(木)は、大雨等災害時を想定した集団下校訓練を行い、地区ごとの集合場所、下校方法、保護者の方への引渡しの手順等を確認しました。また、23日(金)には、登校時の見守りを行ってくださっている交通指導員の方々（通称：グリーンレンジャー）をお招きし、1年生が交通安全教室を行いました。三重地区は朝夕の交通量が多く、スピードを出している車も見かけるので、横断歩道を渡るときは、一度しっかり立ち止まり、左右を確認して渡ることをご家庭でもご指導ください。



□24日(土) 道徳授業参観・地区別懇談会・100人パトロール

土曜日は、早朝より、たくさんの方にご来校いただき、誠にありがとうございました。この1週間、各学級・学年では、授業をはじめ、様々な取組をとおして、いのちや人権、いじめ等について考えてきました。地域のボランティアの方々も何度も学校に足を運んで、子供たちの指導に協力してくださいました。子供たちにはたくさんの方々に見守られていることに感謝するとともに、自分の命は自分でもしっかり守ること、友達の命も同じように大切にすることをこれからも伝えていきます。

